

**バス換気乾燥機 工事説明書**

品番 **FY-24UW5 FY-24UWY5-W**

工事説明書をよくお読みの上、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

**特定保守製品に関するお願い**

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。
- 特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが相当なものとして法令で定めるもの」です。
- 付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

**安全上のご注意 必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
 ■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度 ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。区分して、説明しています。

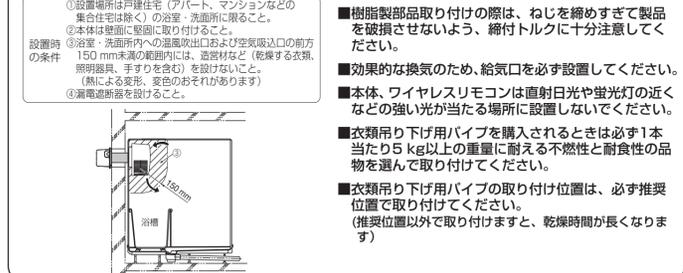
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 警告**
  - 内釜式風呂を設置した浴室に、取り付けしない（排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）
  - 可燃性ガスの漏れのおそれのある場所への設置はおこなわない（発火の原因）
  - 絶対に分解や修理、改造はしない（火災・感電・けがの原因）
- 禁止**
  - 工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「各市部の条例」に従って確実におこなう（水漏れや感電、火災の原因）
  - メタルス、ワイヤス、または金属板張りなどの木造建築物に金属製ダクトが貫通する場合、メタルス、ワイヤス、金属板と電気的に接触しないように絶縁処理を施す（感電や火災の原因）
  - 配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「電気工事事」が確実におこなう（感電や火災の原因）
  - アース工事は電気設備技術基準に関連する法令・規程などに従って必ず「電気工事事」による〇種（第三種）接地工事をおこなない、専用の漏電ブレーカーを設置する（専用10mAのものを選んでください）（故障や漏電のときに、感電の原因）
  - 電源電線は確実に固定する（揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因）
  - 電源電線の接続は確実におこなう（火災の原因）
  - 必ず交流200ボルトで使用する（感電や火災の原因）
  - 衣類吊り下げ用パイプは、本体から150 mm離し、下側に115 mm離す（製品に近づけすぎると、衣類の変色や火災の原因）

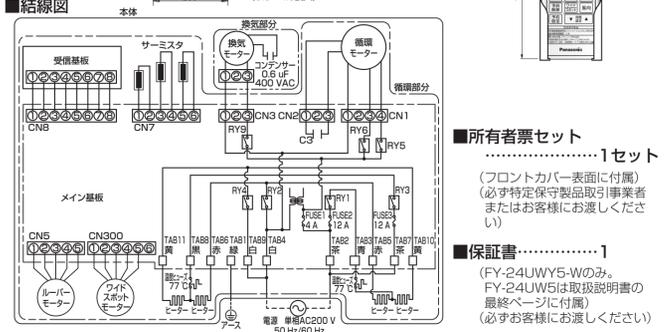
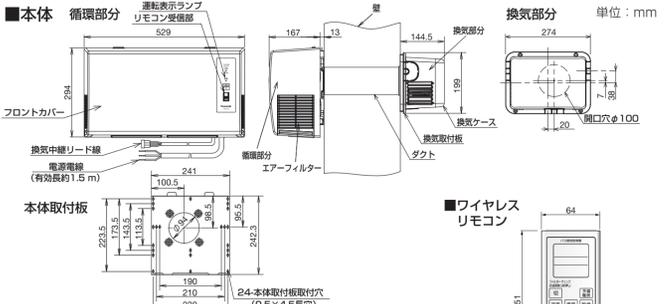
- 注意**
  - 温泉水、温泉成分を含んだ入浴剤を使用しない（変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因や、ひび割れや落下しけがをする原因）
  - ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない（けが・やけどの原因）
- 禁止**
  - 部品の取り付けは確実におこなう
  - 取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
  - 本体は指定の方法で確実に取り付け
  - 本体は、十分強度のあるところにしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する（けがの原因）

**お願い**

- 製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください。
- ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 浴室の広さは、以下をゆえとしてください。ユニットバス1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで、在来工法浴室1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで1.5坪を超える浴室および、下記①～④の浴室では、室温がほとんど上昇しないことがあります。
  - ①窓が大きいとき
  - ②浴室の容積が大きいとき
  - ③タイル貼りの面積が大きいとき
  - ④その他、浴室の密閉性や断熱性が悪いときなど
- 2階以上の足場が無いところへの設置はしないでください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取付けないでください。故障の原因になります。
- 製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。
  - ①設置場所は戸建住宅（アパート、マンションなどの集合住宅は除く）の浴室・洗面所に限ること。
  - ②本体は壁面に堅固に取り付けること。
  - ③浴室・洗面所内への排気取出口および空気取込口の前方150 mm未満の範囲内には、窓枠や扉、乾燥機、照明器具、手すりを含む）を取り付けしないでください。（傾による変形、変色のおそれがあります）
  - ④漏電遮断器を設けること。
- このバス換気乾燥機の質量は循環部分と換気部分合わせて、9.3 kgあります。
- 製品は壁厚240 mm以下の壁に取り付けてください。（付属のダクトでは取り付けできません）
- 一般家庭の浴室・洗面所に取り付けてください。
- 温泉水または温泉を取り込んだ浴室に取り付けしないでください。
- スチームサウナ・ミストサウナの浴室に取り付けられないでください。
- 油煙の発生する場所に取り付けられないでください。
- スプレーを使う場所に取り付けられないでください。
- 高温となる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けられないでください。
- 本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5 m以上離して施工してください。
- 工事の際に、製品本体内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないようご注意ください。
- 樹脂製品を取り付けの際は、ねじを締めすぎると製品を破損させないよう、締付トルクに十分注意してください。
- 効果的な換気のため、給気口を必ず設置してください。
- 本体、ワイヤレスリモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。



**各部の名称と寸法** お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。



- 付属品 末尾の数字は数量をあらわします。
- ダクト……………1
- タップンねじ(φ4×50)……………10
- タップンねじ(φ4×16 黒)……………2
- Eタイプねじ(φ4×8 グレー)……………4
- タップンねじ(φ4×12 黒)……………4
- タップンねじ(φ4×16)……………2
- パッキン……………1
- バンド……………1
- 差し形コネクタ……………3
- キャップ……………3
- アルミテープ……………3
- 取扱説明書……………1
- 工事説明書……………1
- 取付設置業者様へのお願い……………1
- 乾電池(単4形)……………2

漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20 A、高感度高速形(定格電流15 mA・動作時間0.1秒以下)		
電源電線	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	アース工専用
アース線	銅線線径φ1.6以上(または断面積が2 mm <sup>2</sup> 以上)	適宜	
アース棒	WJ4101 (パナソニック(株)製) 相当品	適宜	
防水ジョイントボックス	耐荷重5 kg以上 ステンレス製などのさびにくいもの	1個	衣類乾燥用
衣類吊り下げ用パイプ	ボードファスター(サンコー/製) 下相相当品	適宜	本体取付板固定用
アンカープラグ	BS TYPE BS-405 BS-409 BS-416	適宜	中空構造型の場合
シリコンコーキング材・パテなど	適用板厚 1~5 mm 3~9 mm 10~16 mm	適宜	コーキング用
ロングドライバー		適宜	循環部分取り付け用

**1 設置位置の決定**

1. 機器を設置する壁は外壁であること。本品は外壁側に換気部分を取付けて直接排気するタイプの製品です。外壁の厚みは240 mm以下。
  - 製品天井から天井面まで、50 mm以上
  - 製品左側面から壁面まで、20 mm以上
  - 製品正面から壁面まで、20 mm以上
  - 製品正面から150 mm以上離す
  - 本体と窓枠は、50 mm以上
  - 窓枠は壁面より15 mm以下の出っ張りであること
  - 窓の耐熱温度が高い場合は、上記以上に壁面と本体の距離を確保してください。
2. 循環部分の周囲に適切なすき間があること。さらにこの範囲内には造造物(照明器具・手すりなど)を設置しないこと。
  - 確保できない場合は、性能が十分に発揮できず、浴室壁面、造造物を熱しやすい状態になります。
3. 換気部分の周囲に適切なすき間があること。
  - 換気部分の奥にあるのでフロントカバーの切り抜き部を参考に位置確認をしてください。
4. ワイヤレスリモコンは本体受信できる位置に取り付ける。（100 mm以上）

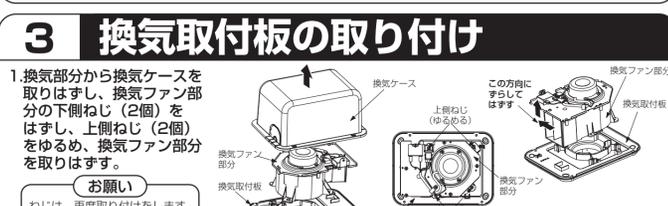
**2 本体取付板の設置**

- (新規に丸穴をあける場合)**
1. 本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、ダクト中央穴位置と本体取付板ねじ穴位置(6か所)の印を壁に付ける。
    - 本書に穴をあける場合は傾斜が小さい穴にしてください。穴にあまり詰みづらくなります。
  2. 下穴をあける前に、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。
  3. 本体取付板のねじ位置に下穴をあける。
    - 浴室の内・外壁の現状確認をおこない、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておき、事前に補修をおこなっておいてください。
    - タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。
    - ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
    - 下穴径は、壁面の材質に合わせてあげてください。

**4.ダクト穴をあける。(φ100)**

- ①ダクト中央穴位置にロングドリルを使用して、下穴をあける。
  - ②下穴を利用して、浴室側の壁面にφ100の穴をあける。
  - ③下穴を利用して、外壁側の壁面にφ100の穴をあける。
- お願い**
- 下穴をあける前に、壁打ちセンサーなどを使用して間接・筋力がないか確認してから作業をしてください。
  - 壁材によって、ホルソーを選定してください。(参考) タイル、モルタル・ダイマモンド 木板……………木工用 塩ビ鋼板……………板金用

- 5.ダクトの長さを調節する。
  - 同様のダクト先端が外壁面(または既存の木枠)と同じ長さになるように切断用ノコギリを使用して切断します。
- 6.ダクトを本体取付板に付属のEタイプねじ(4個)で取り付ける。
  - ダクトアダプターフランジ部(本体取付板 接合面) 全面にシリコンを塗布し、ダクトをはめ込みます。
  - ダクトは水平に取り付けください。
  - 「E」を上方向にして取り付けてください。
- 7.本体取付板を浴室側の壁にタップンねじ(6個)で取り付ける。
  - この製品は循環部分で7.1 kgあります。本体取付板は壁面に、また確実に浴室側の壁に密着するように取り付けてください。
  - 特に、ユニットバス等、中空構造の場合、市販のアンカープラグ(サンコー/製) 取付ボートファスター BS TYPE)などを使用して、確実に取り付けしてください。
  - 水準器などで水平を確認してから取り付けてください。
- 8.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲(下辺を除く)およびねじ止め部をシリコンでコーキングする。
  - 水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。
  - 既存の木枠を使用する場合
  - 上記5~8の作業をおこなう。



**3 換気取付板の取り付け**

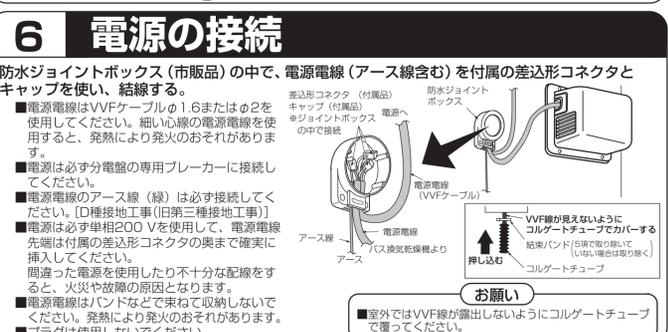
- 1.換気部分から換気ケースを取りはずし、換気ファン部分の下側ねじ(2個)をはずし、上側ねじ(2個)をゆるめ、換気ファン部分を取りはずす。
  - ねじは、再度取り付けをします。なくさないようにしてください。
- 2.電線を通す部分を切り取り、切り取った部分にすき間のないように付属のパッキンを貼り付ける。
  - 必ず指定された部分だけ切り取ってください。(パッキン貼付面はしっかりと切り取ってください)
- 3.換気取付板を外壁面に取り付け。
  - ①換気取付板の溝にダクトをはめ込みより取り付け。
  - ②水準器で水平を確認しながら、付属のタップンねじ(4個)で換気取付板を取り付ける。
  - ③換気取付板の周囲(下辺を除く)および、ダクト接続部をシリコンでコーキングする。

**4 循環部分の取り付け**

- 1.換気中継リード線と電源電線をダクトの穴に通す。
- 2.循環部分の引っ掛け穴を本体取付板のツメに引っ掛ける。
- 3.換気中継リード線と電源電線をたるみがないようにダクト穴に押し込む。
  - 浴室側から見ダクト穴が左寄り(または右寄り)に開いている場合は、製品裏面の取付金具を下図のようにずらし取り付け、本体取付板に引っ掛けてください。
- 4.循環部分固定部を本体取付板の上側に差し込み、循環部分を固定する。
  - 取付金具のずらしかた
  - ①取付金具のタップンねじ(2個)をはずす。
  - ②本体裏側スリットから、取付金具のツメを左へスライドさせてはめます。
  - ③取付金具の位置を左側(または右側)にずらすと、本体裏側スリットに差し込み、タップンねじ(2個)で取り付ける。
  - ダクト穴が右寄りの場合
  - ダクト穴が左寄りの場合
- 5.本体取付板と循環部分を付属のタップンねじ(2個)で固定する。
  - ねじは再度取り付けをします。なくさないようにしてください。

**5 換気ファン部分・換気ケースの取り付け**

- 1.電源電線先端の結束バンドを取り除き、換気取付板の矢印(ラベル)の範囲内にコルゲートチューブの端をあわせて、電源電線先端側のコルゲートチューブは、ずらした分だけ取り除く。
  - 電源電線(灰色の被覆)を傷つけないように注意してください。
  - ダクト内にコルゲートチューブを入れないでください。(換気運転時、異音が発生するおそれがあります。)
- 2.換気ファン部分を上側ねじ(2個)で固定し、換気中継リード線をエッジホルダー内を通し、接続する。
  - 換気中継リード線と電源電線は左側面のパッキンより取り付けてください。
- 3.換気ファン部分をねじ(4個)で固定し、換気中継リード線をエッジホルダー内を通し、接続する。
  - 残った換気中継リード線は付属のインピンにより、結束しておきます。
- 4.換気ケースを取り付ける。
  - ①換気ケースの電源電線取出口切り欠き部をニッパーを使って切り取る。
  - 電源電線取出口切り欠き部は換気ケースの左側面を使用してください。
  - ②電源電線取出口から電源電線を取り出し、付属のタップンねじ(4個)で換気ケースを固定する。



**6 電源の接続**

- 防水ジョイントボックス(市販品)の中で、電源電線(アース線含む)を付属の差込形コネクタとキャップを使い、接続する。
- 電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。細い線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
  - 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
  - 電源電線のアース線(緑)は必ず接続してください。(D種接地工事(日第三種接地工事))
  - 電源は必ず単相200 Vを使用して、電源電線先端側の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。
  - 電源電線はVFDなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。
  - プラグは使用しないでください。

**7 ワイヤレスリモコンの取り付け**

- 1.取り付け位置を決定する。
  - ワイヤレスリモコンは約300 mmのチェーンが付いています。(取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください)
- 2.リモコンホルダーを付属のタップンねじ(2個)で固定する。
  - 取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが取り付けられないことがありますので、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
  - 浴室内設置の場合ねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理をおこなってください。
  - 製品を取り付けている壁面への設置はしないでください。
- 3.ワイヤレスリモコンに電池を入れる。
  - 電池ふたを開閉するときはメタルなどを使用してロックを右に回転させ「I」を合わせる。
  - 電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないようにしてください。
  - 電池ふたを閉めるときは、電池ふたのゴムに髪の手やホコリなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉めてください。異物が付着した場合は、裏から布で拭き取ってください。

**8 衣類吊り下げ用パイプの取り付け**

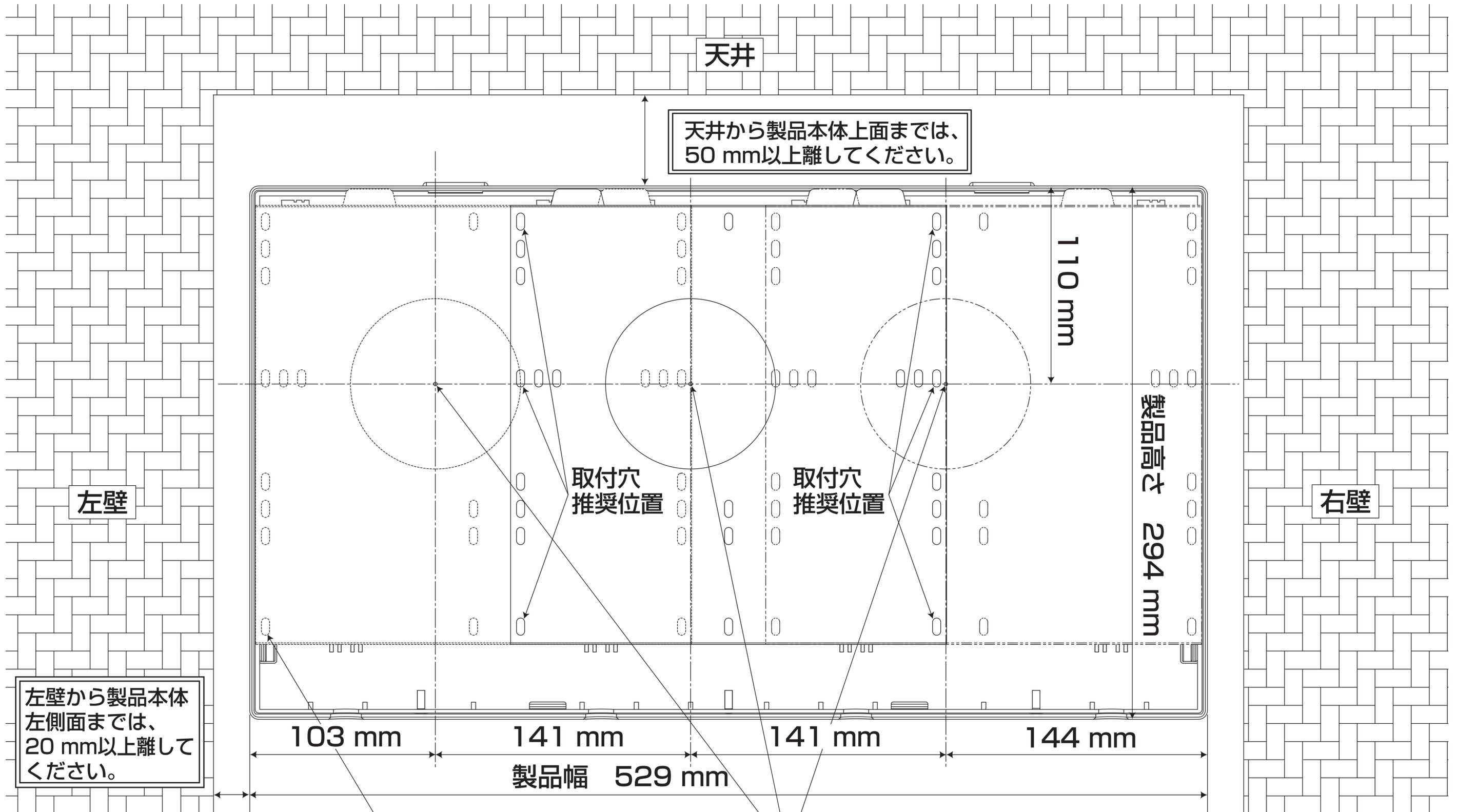
- 右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ(市販品)を取り付ける。
- 衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり5 kg以上の重量に耐えるステンレス製などのさびにくい品物を選んでください。
  - 衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず推奨位置で取り付けてください。(推奨位置以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)
  - 推奨位置に取り付けできない場合は、取り付け範囲の位置へ取り付けてください。(ただし、乾燥時間は長くなります)

**9 試運転**

- 取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転をおこない異常がないか確認する。異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな?」のページを参照する。
- 引き渡しまで期間が長くなる場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

# 取付用型紙

工事の際、壁面に貼り付けてご使用ください。（浴室内から見た図になっています）  
 なお、この型紙の寸法は湿気などにより変化しますので、寸法を確かめてご使用ください。



左壁から製品本体  
左側面までは、  
20 mm以上離して  
ください。

天井から製品本体上面までは、  
50 mm以上離してください。

本体取付板位置

- 実線：中央の場合
- 破線：左側の場合
- - - 2点鎖線：右側の場合

本体取付板ねじ穴位置  
（24か所から6か所選択  
して固定する。）

φ 100穴施工中心位置

右壁から製品本体右側面  
までは、20 mm以上離し  
てください。